

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 社会（地理）・地図

## 調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：地理)

1 調 査 研 究 の 経 過 ・ 内 容	<p><input type="checkbox"/> 6月27日(木) 第1回第20地区および第13地区教科用図書合同調査委員会・ 第1回地理小委員会 ・小委員会員の確認・調査研究日程の確認並びに内容・役割分担の確定 ・調査研究項目の確認、調査の視点の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 6月28日(金)～7月12日(金) 各自、各教科書についての調査・研究</p> <p><input type="checkbox"/> 7月13日(土)～7月18日(木) 調査・研究の集約及びまとめ</p> <p><input type="checkbox"/> 7月19日(金) 第2回地理小委員会 ・調査内容の交流 ・各教科書の内容、構成、使用上の配慮事項等に関わる意見交換</p> <p><input type="checkbox"/> 7月20日(土)～7月25日(木) ・意見交流を基に個別に再検討・精査 ・意見集約と報告書作成・確認</p> <p><input type="checkbox"/> 7月26日(金) ・調査研究後の教科用図書採択参考資料等を事務局へ提出</p> <p><input type="checkbox"/> 8月8日(木) 第2回第20地区および第13地区教科用図書合同調査委員会にて調査研究 結果報告</p> <p style="text-align: center;">※協議内容は別紙(様式4)</p>
2 調 査 研 究 の 具 体 的 資 料	<p>1 教科書編修趣意書</p> <p>2 採択参考資料</p> <p>3 学習指導要領解説</p>
3 少 数 意 見 等	<p>・地理では、多彩な画像や図等が用いられ、世界や日本各地の現代的特徴や傾向が視覚的に捉えることができるように工夫されている。</p> <p>・地図では、歴史的な出来事の記載が見られるなど地理と歴史の関連付けがしやすいように工夫されている。また、鳥観図や立体地図等、様々な形態の地図を用いることで、視点を変えて学習できる工夫がされている。</p>

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	2・東書	第1学年 第2学年	地理 002-72	新編 新しい社会 地理
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標を達成することができるようにするための内容の構成については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の学習において、世界各州の自然環境や歴史、産業から州ごとの地域的特色を概観する活動。また、各州の地域的特色を学ぶことができる探究課題の追究を通して、地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域」の学習において、北方領土に関して、上空写真や地勢図から位置を示したり、自然環境を視点にするなど、日本の領域に関わる問題を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」の学習において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色を捉えたり、地震や災害発生の仕組みや防災・減災の取組を理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」の学習において、自然環境や人口、産業などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、北海道地方では地勢・自然との共存（アイヌの人々の生活や文化）・稲作畑作酪農・観光の4つの項目を視点にあてた各地域の特色が深く追究できる地域の課題を理解したりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の導入部分に、生徒の興味・関心を引き出す「導入の活動」を設けたり、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置するなど、生徒が主体的に課題をつかめるようにしたり、協働的な学びができるようになっている。</li> <li>・学習の終末部分では、「見方・考え方」を働かせて探究課題に対するまとめ（ふりかえり）させるなどの工夫がされている。</li> <li>・地理的分野の学習に不可欠な基礎的・基本的な技能を身に付けるために「スキル・アップ」の項目や資料を活用する力をきたえるための項目が設けられるなど工夫がなされている。</li> <li>・各ページに関連するデジタルコンテンツが活用できるQRコードが記載され、生徒の主体的な学びができるよう工夫がなされている。</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの単元の学習も導入部分において小学校社会科で学習した内容を想起できるようにするとともに、ページ構成及び学び方を統一するなど工夫がされている。</li> <li>・写真や雨温図などの資料の読み取りや、調査や分析の手法を活用する場面を学習に設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>・教科書の最初に地理的な見方・考え方についてまとめたページを設定するとともに、「地理のミカタ」コーナーなどで、どのような見方・考え方を働かせるかなど示している。</li> </ul> </li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年	地理 017-72	中学校社会 地理
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標を達成することができるようにするための内容の構成については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の学習において、世界の諸地域について、他地域との結びつきや、州の特徴の概観を捉えたり、州ごとに学習テーマを設定して地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」の学習において、北方領土に関して、地図から位置を示したり、歴史的背景や近年の交流写真などをもとに、日本の領域に関わる問題を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」の学習において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色を捉えたり、地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観できる活動</li> <li>・「日本の諸地域」の学習において、日本の諸地域について、単元ごとに設定された考察の視点を通して各地方の特色を理解したり、北海道地方では地勢歴史・冬の暮らし・稲作畑作酪農・漁業・観光の5つの項目を焦点にして、主題を設けて地域の課題を理解したりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の単元との系統的な学びができるよう、各章の最初に他章とのつながりや単元を見通した学習課題を明示することにより、単元の学習の見通しがもてるよう工夫がなされている。また章末には、単元の振り返りを行うとともに学びが活用できるようまとめ方の工夫が見られる。</li> <li>・課題の追究場面において、生徒の主体的な学びができるように興味・関心が高まるような写真や図版を提示したり、学習に役立つさまざまな情報を見ることができる「まなびリンク」を記載して、主体的に学べるよう工夫がなされている。</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「地理の学習を始めるにあたって」において、地理的分野の学習の流れについて確認するとともに、「地理的な見方・考え方」について、各章の最初のページに示すなど単元を通して課題を探究できるような工夫がなされている。</li> <li>・地球的課題とSDGs、各単元の学習との関連が明示され、単元の初めや振り返りの場面では関連付けて学習できるよう工夫がなされている。</li> <li>・「関連マーク」を付して歴史的分野・公民的分野との連携を図る工夫がなされるとともに、世界や日本の各地の特色について歴史的な歩みや背景と関わらせて捉えられるように構成されるなど、歴史的分野との関連が図られた構成となっている。</li> </ul> </li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の諸地域」の学習において、自然環境と関連する産業の変化の視点から、北海道地方の特色を考えられるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 持続可能な社会づくりの視点から、アイヌ民族の歴史や文化に学ぶ内容が掲載され、地名の写真やムックリ、ウポポイの写真等が使われている。まなびリンク内にはウポポイの動画も紹介され、理解を深めるとともに多文化共生について考えさせるよう工夫されている。</li> <li>○ わが国固有の領土である北方領土について、歴史的な流れとともに平和的な解決のために必要なことを考えられるよう工夫されている。</li> <li>○ 釧路地方の冷涼な気候とそこで行われている産業との関連、豊かな自然環境などについての記載や、釧路市内の松浦武四郎像の紹介や濃霧として釧路市内の様子が写真のほか、鶴居村、釧路湿原のタンチョウが紹介され、地域の特色について学べるよう工夫がなされている。また、地理の窓では残された自然を守るとして湿原についてのコラムがあり、国立公園として阿寒摩周、釧路湿原が図に紹介されている。</li> <li>○ SDGsのアイコンが効果的に使用されている。また、QRコンテンツはワードチェックがあり、選択式の復習問題が用意され、加えて、各分野との関連ページの項目と内容が簡単に記載されている</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	46・帝国	第1学年 第2学年	地理 046-72	社会科 中学生の地理
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標を達成することができるようにするための内容の構成については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の学習において、世界各州の自然環境や歴史・文化、産業などから州ごとの地域的特色を概観させる活動。また、各州の地域的特色を学ぶことができる課題の追究を通して、地理的特色を理解する活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、北方領土に関して、上空写真や歴史の変遷から位置を示したり、ロシアとのビザなし交流の写真などを視点にするなど、日本の領域に関わる問題を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」の学習において、自然環境や人口、産業、交通、通信などの特徴を捉えたり、自然災害に対する防災・減災の取組について理解する活動</li> <li>・「日本の諸地域」の学習において、自然環境、生活・文化、産業など7つの地方の地域的特色を概観させる活動。北海道地方では、地勢・雪との暮らし・畑作稲作・酪農漁業・観光の5つの項目を視点に充て、加えてアイヌ民族の生活から農業の工夫を考えるなど、地域的課題を理解するために、主題を設定し探究する活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のはじめに、大判な写真から対象地域を概観する「写真で眺める」を設定し、写真や地図を読み取る活動を通して、単元全体の学習内容を見通せる工夫をしている。</li> <li>・単元のまとめに、「学習を振り返ろう」を配置し、地図や思考ツールを活用して協働しながら学びを振り返る活動が取り上げられている。</li> <li>・毎時の学びにおいて、学びの道筋を示すとともに、「対話」「見方・考え方」等マークで図示することで学びを深める工夫がなされている。</li> <li>・特設ページやコラムが配置され、学びを確認したり深めたりする工夫がされている。</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学習した内容を確認できるよう、脚注欄に関連用語を記載している。</li> <li>・「地理的な見方・考え方」を働かせ、関係性や違い、変化や関連性が捉えられるよう写真や地図、雨温図などの位置を固定するなど資料掲載に工夫が見られる。</li> <li>・地域的・地球的課題の解決に取り組む視点を養う「未来に向けて」、地域をよりよくするために構想する「地域のあり方」を設定し、持続可能な社会に向けた行動を促す工夫がなされている。</li> <li>・位置や分布、他地域との結びつきなどを地図上で捉えるなど、地図帳を活用して教科書の学びを深める工夫がなされている。</li> </ul> </li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	116・日文	第1学年 第2学年	地理 116-72	中学社会 地理的分野
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標を達成することができるようにするための内容の構成については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」の学習において、世界の各州の自然環境や産業から州ごとの地域的特色を概観したり、テーマを設定してその地域的特色を探究できる活動。またその州にみられるさまざまな課題のうち、地球全体にかかわる課題（地球的課題）を追究する活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、北方領土に関して、地図や国境の変遷から位置を示したり、国際社会を視点にするなど、日本の領域に関わる問題を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域的特色と地域区分」の学習において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色を捉えたり、防災・減災のための取組を理解する活動</li> <li>・「日本の諸地域」の学習において、自然環境、交通・通信、歴史的背景などから7つの地方の地域的特色を捉え、北海道地方ではアイヌや世界自然遺産の視点も加えるなど、自然環境との共生や、伝統的な儀式やウポポイの写真、アイヌ語に由来する地名などが紹介される、各地域の特色を深く追究できる地域の課題を理解したりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最初に、その単元でどのような学習をするのかについて、資料を読み取り、問いを導くことによって単元を貫く問いが設定できるよう工夫されている。</li> <li>・単元を貫く課題を追究するために、単位時間で学ぶことや着目する視点の例を「学習課題」「見方・考え方」に示し、追究するための手がかりとなるよう工夫されている。</li> <li>・単元のまとめ・振り返る場面では、ポートフォリオを用いて振り返りを行ったり、自分の考えをもとに話し合ったりすることで課題を深く追究できるよう工夫されている。</li> <li>・見開きタイトルの横に二次元コードが配置され、それを活用することによって内容のまとまりで授業を支援したり、個別最適な学びが実現できるよう「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の3つのコンテンツが系統的に設定されている。</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭口絵で、地理的な見方・考え方の解説が示されるとともに、本文ページの各見開きで学習課題とともに見方・考え方に基づいて記述し、図版を掲載している。</li> <li>・持続可能な社会に関連する内容が各所で掲載され、教科書全体を通して自分事と考えられるよう工夫されている。</li> </ul> </li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	地図 002-72	新編 新しい社会 地図
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標を達成することができるようにするための内容の構成については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、海洋や極地を視点に地図から地球全体の姿を比較したり、地形や気候を調べたりする活動</li> <li>・世界の各州・日本の各地方において、地域の概観に役立つ自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載しており、それらをもとに学習テーマについて調べたり、読み取ったりする活動</li> <li>・「世界州別地図」において、地域や経年変化を比較したり、国名や主要な都市名、自然地名を調べたりする活動</li> <li>・「世界の資料図」において、世界の地形や気候、人々の生活や文化、産業などを調べたり、複数の資料から特色を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本全図」において、地図上で実際の距離を測ったり、領土をめぐる問題を写真で見ると日本領域を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、縮尺を100万分の1に統一した地図から、距離感や地形を比較したり、様々なスケールで土地利用を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本の資料図」において、地形、降水量、人口分布、土地利用などの主題図から基本的な情報を読み取ったり、発生しやすい災害を調べたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の学習に興味・関心を持たせ、地図の活用法や学習を深められるようQRコンテンツを設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>・現代社会の諸課題への対応であるSDGsについて概要の紹介とともに具体的な取組を考え、解決に向けて主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三分野の学習に活用できる主題図において、現代の諸課題に関連する資料を掲載したり、多面的・多角的に捉えることができる資料が掲載されているなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>・世界の生活や文化を示す写真や、デジタル地球儀「My Glove」や「世界の気候景観」など、生徒の興味・関心を高める資料やQRコンテンツを備えている。</li> </ul> </li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道地方の全体図に加え、南部と北部、札幌市周辺と中央部、自然や産業などの資料が掲載されており、学習テーマに基づいた調べ学習を行う際に、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○「日本周辺の地図」で我が国の東西南北端や排他的経済水域が示され、近隣諸国との間で領土をめぐる問題を抱えている地域を写真でも掲載しており、我が国の領域について理解が深められるよう工夫されている。</li> <li>○アイヌの人々に関する取り扱いについては、開拓の歴史とアイヌ語由来の地名が数か所記載されている。</li> <li>○釧路地方については、漁業の円グラフで、たら、こんぶの漁獲量が多いことが示され、地形と自然災害では、釧路沖地震の記載されている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、 内容の構成・排列	46・帝国	第1学年 第2学年 第3学年	地図 046-72	中学校社会科地図
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の目標を達成することができるようにするための内容の構成については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、発色の工夫で容易に日本中心の地図とヨーロッパ中心の地図の比較をおこなったり、地域の時差を調べたりする活動</li> <li>・「世界州別地図」において、同じ縮尺の図から地域の特色を比較したり、鳥瞰図から世界各地の自然環境や文化、世界各地の環境問題の取組、産業の様子などを大観する活動</li> <li>・「世界の資料図」において、世界各州の自然環境課生活・文化、歴史、産業などを調べたり、世界と日本とのつながりを読み取ったりする活動</li> <li>・「日本全図」において、北方領土が間近に見える写真や北方領土がロシアに不法占拠されている説明などから、日本固有の領土を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本地域別詳細図」50万分の1図において、地域の生活や産業の様子、土地利用を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本の資料図」において、自然、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図から分布の特徴を読み取ったり、自然災害や防災の取組を調べたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に関する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学びができるよう、問い「地図で発見！」が設置され、地図の読み取りなど地理的技能を身に付けさせるとともに、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。</li> <li>・世界の各州では、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図があり、生徒の興味・関心を高めて学習に取り組めるよう工夫がなされている。</li> <li>・SDGsのマークやQRコードが設置され、それを活用することで生徒が主体的に学習し、資料活用能力が高められるコンテンツが収録されている。</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学習した基礎的知識を確認することができるコンテンツ「小学校の振り返り」が収録されるとともに、技能を発展させた「この地図帳の使い方」が設置されている。</li> <li>・地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野でも活用できる資料が掲載されている。</li> <li>・レイアウトの統一（構造化）がなされているとともに、見開きのページの地域がどのあたりに位置するかわかるよう位置図が掲載されるなど、学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされている。</li> <li>・北海道地方では、北方領土の国境の変遷の図があり、その歴史を知ることができるように工夫されている。</li> </ul> </li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

番号	協議題	協議・調査内容
1	子どもが学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く学習活動に取り組む「主体的な学び」に関する配慮について	<p>「東京書籍」では、学習の導入部分に生徒の興味・関心を引き出す「導入の活動」を設けたり、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置するなど、生徒が主体的に課題をつかめるようにしたり、協働的な学びができるようになっている。また、学習の終末部分では「見方・考え方」を働かせて探究課題に対する振り返えらせる活動などの工夫がなされている。</p> <p>「教育出版」は、課題の追究場面において、生徒の主体的な学びができるように興味・関心が高まるような写真や図版を提示したり、学習に役立つさまざまな情報を見ることができる「まなびリンク」を記載して、主体的に学べるよう工夫がなされている。</p> <p>「帝国書院」は、単元のはじめに大判な写真から対象地域を概観する「写真で眺める」を設定し、写真や地図を読み取る活動を通して、単元全体の学習内容を見通せるようになっている。また、単元のまとめに「学習を振り返ろう」を配置し、地図や思考ツールを活用して協働しながら学びを振り返る活動を取り上げるなど工夫がなされている。</p> <p>「日本文教出版」は、単元を貫く課題を追究するための単位時間で学ぶことや着目する視点の例を「学習課題」「見方・考え方」に示し、追究するための手がかりとなるようになっている。また、単元のまとめ・振り返る場面では、ポートフォリオを用いたり、自分の考えをもとに話し合ったりすることで課題を深く追究できる活動などの工夫がなされている。</p>
2	北海道とかかわりのある内容を取り上げている教材数について	<p>①総数で、「東京書籍」は151点、「教育出版」は207点、「帝国書院」は172点、「日本文教出版」は164点であった。</p> <p>②アイヌの人たちに係る記述で「東京書籍」は5点、「教育出版」は11点、「帝国書院」は6点、「日本文教出版」は3点であった。</p> <p>③北方領土に関する内容で「東京書籍」は9点、「教育出版」は14点、「帝国書院」は5点、「日本文教出版」は8点であった。</p>
3	現代的な諸課題の一つである自然災害及び防災の対応に関する、解決に向けた構想する学習を意識した編集について	<p>4社ともに自然災害や防災に関する内容を取り上げ、その解決に向けた構想をする学習を進めることができる編集がなされている。</p> <p>①総数では、「東京書籍」は43ページ、「教育出版」は34ページ、「帝国書院」は42ページ、「日本文教出版」は45ページであった。</p> <p>②内容では、「東京書籍」は地震や津波発生の仕組み・減災の取り組みや工夫などの教材や題材を取り上げている。</p> <p>「教育出版」は過去の大震災や気象災害の被害から災害予測や減災・復興支援などの教材や題材を取り上げている。</p> <p>「帝国書院」は地震による被害や大雨・冷害などの気象災害から自然災害に対する備えや発生時の対応に関する教材や題材を取り上げている。</p> <p>「日本文教出版」は自然災害から見た地域的特色や災害に備えるための減災の工夫に関する教材や題材を取り上げている。</p>

※行が足りない場合は増やしてください。

※1つの教科・領域で2～5の協議題、協議・調査内容を記載してください。